



adtain
adproject-entertain newspaper

モデル：LIVA / Height:177cm B:79 W:59 H:84
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

はないことは、誰の目にも明らかです。つまり、日本の未来像も世界が共通認識として持つ、あるべき「ガイア社会」のイメージから選択されるべきなのです。「一つの地球」という概念の中で描いたイメージがまずあって、その中で「日本はどんなイメージか」と落とし込んでいく。この互換性がなければ何も成り立ちません。企業活動にも、この互換性は求められていくことになります。会社の側から言えばその外側にある日本社会をイメージする中から、事業の方向性が明らかになっていくのは当然のことでしょう。その社会を取り囲んでいるのが地球という環境であり、世界の流れです。そこに想像力が働かなければ、これからの企業活動は立ち行きません。マーケティングの流れがコンシューマ・インからソーシャル・マーケティングに移行しているのも方向性としてはそういうことなのです。前提は、あくまでガイアの欲求に基づいたあるべき地球社会を「世界が共同で作っていく」ということです。ただ、それぞれの国の発展段階や特性によって役割は分化されていくでしょう。それは優劣ではなく支配被支配の関係でもない。人間が生きていくための活動を分化しているのだからこそ、そこに「遊び」「楽しさ」「喜び」という要素を積極的に組み込んでいく必要があります。その特効薬となるのがエンターテインメントなのです。

(次号へ続く)

2022 vol.117

5

Legend

エンターテインメントの

実行

その⑭



創業者 檜垣 俊幸

地球＝ガイアが決定する「新世界秩序」

情報化の進展により、世界中のあらゆる国や地域の間で、関係性の矛盾が露呈してきています。同じ労働をしてもA国よりB国の方は賃金が10倍高いという情報が入れば、A国の労働者は何とかしてB国で働きたいと思うのは当然でしょう。今まで、国家の枠組みの中で相互に取り決められていたことの整合性が合わなくなってきたのです。

端的なのは食料問題です。ある野菜が豊作だと、値崩れを防ぐために、せっかく作った野菜を廃棄するというのが市場の論理によって行われています。しかし、世界には現在なお飢餓で多くの死者が出ている国や地域もあるわけで、誰が考えてもこれは整合性が合わないことでしょう。もちろん、輸送費用など、いろいろ現実的な問題はあります。しかし、理屈に合っていない、誰もが釈然としないことには、私たち人間に共通するある種の原始倫理が働いているのです。原始倫理に反することは、どんなに理屈が通っていても気持ちよくない。これが、私が「新・快樂主義」を提唱する所以です。

では、その原始倫理とはいかなる源泉から発しているのかと言うと、生命体としての地球、すなわち「ガイア」の欲求に連なるものだというのが私の直感です。

現在、国家間の矛盾を調整する機能がある程度果たしているのは国連ですが、実際のところは、大国が自国の利益を優先しつつ、ポリティックなバランスをとっているに過ぎません。国や地域の利権代表が集まって作る取り決めというのは、それが原始倫理、すなわちガイアの欲求に合致するものであるという保証も目的意識もないのです。

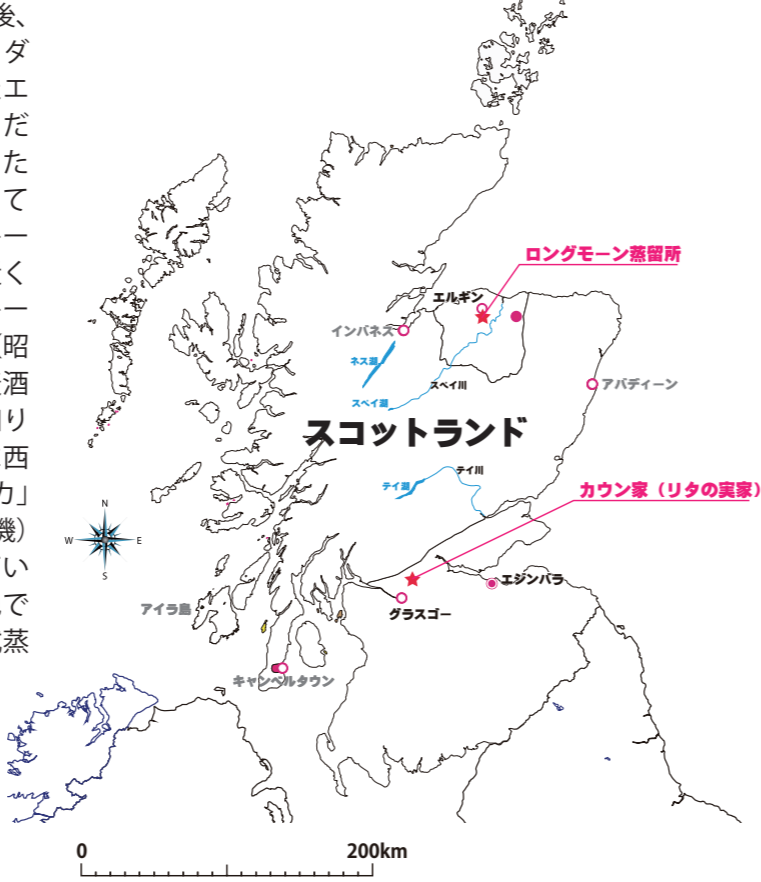
新しいパラダイムを完成させるために今急務なのは、ガイアという生命体と共同していくという目的意識を鮮明にした「新世界秩序」なのです。いずれ、そのための国際立法府の設立も要請されるようになっていくことでしょう。

その時に大切なのは、私たち人間ばかりで

Keyword：マッサン (3)

3年振りに行動制限のないゴールデンウィークを過ごせたわけですが、これから再び感染者が増加して行くことは誰もが織込み済みのはずですが、どこまで増加して再び制限がかかるのか、それとも制限なしでやり過ごせるのか、この先どうなるのかわかりませんが、かなり身近な人に感染者が増えて来たことは事実です。3回目のワクチン接種を済ませていない方は、早めに済ませておく方が良いでしょう。

さて、先月号からの続きです。海難事故に巻き込まれてしまった竹鶴ですが、竹鶴が乗船していたオルディナ号にはベルギー王子(後の国王レオポルド3世)も乗っており、犠牲者遺族への募金を提唱し、その集金係に竹鶴が任命されたとの記録があります。それほど、社交性があり、語学が上達していたということのようです。リバプールから北へエジンバラを経て、グラスゴーへと鉄道で向かった竹鶴は、グラスゴー大学に外国人聴講生の資格で入学し応用化学を学びました。グラスゴー大学といえば、アドレナリンを発見し、アメリカで巨万の財を成した高峰譲吉も 1880 年から3年間学んだ大学です。結局、そのグラスゴー大学には竹鶴が学びたかった醸造学科がなく、ウイスキー造りの実習が出来る場所が見つからなかったため、1919 年4月にエルギンに向かいました。そこでロングモーン蒸留所での実習が許可されたのです。ロングモーン蒸留所は、正確には「ロングモーン・グレンリベット蒸留所」という蒸留所ですが、現在でも有名な、あの「ザ・グレンリベット蒸留所」とは異なり、当時は高名なザ・グレンリベット蒸留所にあやかるうと、多くの蒸留所が自分達の蒸留所名の後にグレンリベットと付けていました。その数は 30 ヶ所を超えていたそうです。そのロングモーン蒸留所で、モルトウイスキー製造のための糖化工程から発酵～蒸留までの全工程について1週間の実習を経験しました。その後、再びグラスゴーに戻り、1919 年の初夏にグラスゴーの中心部から 13 kmほど離れたイーストダンバートン州カーカンテロフ (Kirkintilloch) の町に向かいました。竹鶴と大学の級友だったエラが、竹鶴の柔道の腕を見込んで、エラの弟のラムゼイに柔道を教えて欲しいと頼んだからだそうです。そのエラの姉が、後に竹鶴の妻となるリタ (ジェシー・ロベルタ・カウン) だったのです。リタの家は大邸宅で、父親のキャンベル・カウンは医師として、自宅で診療も行っており、竹鶴を非常に温かく遇してくれたそうです。その後、スコッチのブレンデッドウイスキーには欠かせないグリーンウイスキーを製造するための連続式蒸留機についてもエジンバラ近くのボーネス蒸留所で2週間実習させてもらう機会を得ました。その後、竹鶴がニッカウキスキーの前身となる「大日本果汁株式会社」を設立し、北海道・余市に工場を完成させた 1934 年 (昭和9年) から 28 年後、竹鶴がこの連続式蒸留機の導入を提案して来たのが、当時の朝日麦酒株式会社社長の山本為三郎でした。山本為三郎とは、竹鶴が摂津酒造に入社した頃からの知り合いで、朝日麦酒は、1954 年にニッカウキスキーに資本参加しています。そして 1964 年に西宮工場に、その連続式蒸留機が設置され、1965 年に発売され大ヒットした「新ブラックニッカ」の香味を決定づける役割を果たしました。この連続式蒸留機 (正確にはカフェ式連続式蒸留機) は、1999 年に宮城峡蒸留所へ移設され、今もニッカウキスキーのブレンデッド製造を支えています。その宮城峡蒸留所に設置された連続式蒸留機は、現在見学は出来ませんが、レンガ色で統一された一番高い建物の中に設置されています。下の写真の中央は、その建物内の連続式蒸留機の構造を示した 1/10 スケールの模型で、ビジターセンター内に展示されています。これは筆者が2度目に訪れた際に撮影したのですが、ゴールデンウィーク中でも、まだ仙台では八重桜が満開でした。撮影した当日は 25℃の気温でしたが、その4日前は気温が 1℃まで下がり小雪が舞っていたそうです。



DAN★DAN 弊社所属ユニット

公式ホームページ

ここ 2~3 年で散歩するのが趣味になっていまして、8 キロまでは歩いて移動したりしています。今年は山登りにも挑戦したいなと思っています。山の上は予想よりも寒くてびっくりしてしましますが、そこから見える景色と登った時の達成感が快感になって、次はもう少し高い山にチャレンジしてみたいと思っています。並べた石は、どのように運ばれたのかとか、最初に山登りのルートを作った人はどんな人なのかとも興味が湧いています。



ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4 www.adproject.co.jp

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

皆様の いいね！をお待ちしております。

facebook adproject

adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>



阪本 崇裕

■ Title : 歳とったな、と感じるとき

おかげさまで5月で無事33歳になりました。最近よく「若い頃は…」などと思うことも増え、身体の老化が始まっているようです。

まず、夜は決まった時間になると眠くなること。本来であれば人間の本能としては間違っていないのですが、「明日は予定もない徹夜でゲームするぞー」などと思っていても、普段寝る時間になると眠くて寝てしまいます。そして翌朝も普段通りの時間に起きてしまいうルーティーンから抜け出せず、休日も変わらぬ日々を過ごしております。


次は、肩が昔より上がらないことや、ちょっとしたことで体の節々の筋肉や関節を痛めることが多々あります。寝返りなど体勢を変えるだけで筋(スジ)?筋肉?が痛い。。電車で間に合わせるために走ろうものなら、すぐ息切れして乗車なんかできませんし、転んで怪我するリスクが高いので時間には余裕を持つようになりました。一見良い心がけと思いますが、ただただ怪我を恐れているだけなので若いころの「がむしゃら感」はもう出せませんね。

また、美味しい食べ物って若いころや小さいころは「自分が食べたい」「あげたくない」って思っていたと思いますが、おじさんになると「コレ美味しいから食べて」って共感してもらおう事に満足を得るように変化してきました。大体美味しい食べ物って脂っこくて2つ3つで止めとかないと胃もたれしちゃうんですね。学生の頃好きだった食べ方やトッピングも今では無謀に感じています。

飲み物もジュースや炭酸飲料をガブガブ飲んでまに一つ気にしてきませんでしたが、社会人になってからはコーヒー以外なにも飲まない日もありますし、炭酸飲料水に魅力を感じなくなってきました。

体重もおかげさまですくすく成長してまして、学生の頃より6キロ増え腹回りもだらしくなってきましたが、だからといって運動しようとは思わないので、おじさん体型まっしぐら。健康診断で悪い結果がでたら本気を出していきたいと思います。これからは、甘いものや辛いものなどはやめてバランスの良い食事に移行し、長生き健康プラン生活を邁進していきたいです。

Project 1.



Producer's column


家庭菜園だより

CHAIRMAN : 岩澤 二三夫

夏野菜を植えました。ナス、ピーマン、ししとう、トマト。全てナス科の野菜です。人気野菜ですが、連作障害の影響を受けやすいので、連作障害を軽減するために、いつも以上に腐葉土や堆肥などの有機物を入れた土づくりを心掛けないと上手く野菜が成長しません。本来ならばナス科の野菜を植えた場所には、三年位はナス科の野菜を作らず、他の科の野菜を栽培する輪作が重要ですが、狭いスペースしかないと苦労する問題です。今年も野菜達よ！大きくなれ、大きくなれ！



Project 2.



弓狩 章裕

■ Event : ゴールデンウィーク

■ Place : 軽井沢

ゴールデンウィークなのに3連休と聞くと、少し物足りなさを感じるかもしれませんが、今年は連休が重なり有休を上手く使って大型連休にされた方も多いのではないのでしょうか。私は毎年どこに行くか予定が決まらず、何もせず終わってしまったのですが、今年はリフレッシュも兼ねて軽井沢へ遠出してきました。そんな軽井沢の見どころを少しで紹介させていただきます。

- 【軽井沢・プリンスショッピングプラザ】
軽井沢の自然豊かなロケーションに包まれたショッピングモール。10のエリアからなり、有名ブランドのアウトレットやインテリア、雑貨、アウトドアなど約240ものバラエティに富んだショップが軒を連ねています。
- 【軽井沢チョコレートファクトリー】
店舗の一部は工場スペースとなっていて、ガラス越しに製造工程を見学することができます。軽井沢のお土産として人気の「チョコレートボール」や「軽井沢ラスク」を買い求める人々で、店内はいつもにぎやか。
- 【白糸の滝】
「軽井沢で一番」といっても過言ではない癒やしのスポットです。幅70mの岩壁に数百の細い地下水が流れ落ち、その名のとおり「白い糸」を連想させる美麗な滝。落差は約3mと控え目ですが、視界いっぱい広がる清らかな水の動きは、その場を離れられなくなる魅力的な風景です。
- 【鬼押出山】
783年の浅間山噴火によってできた景勝地。雄大な浅間山を背景に、噴火で流れ出た溶岩が固まって作り出された独特の荒々しい風景が楽しめます。園内には、浅間山大噴火の犠牲者供養を目的として建てられた浅間山観音堂や、お土産屋さんにお食事処なども設けられています。

日本を代表する避暑地といっても過言ではなく、毎年多くの観光客が訪れますので、是非、夏の軽井沢旅行を計画してみては如何でしょうか。

2022年イベント・広告業界の動向



PRESIDENT : 檜垣 俊吾

2020年に起こった新型コロナウイルスの影響によって、イベントの在り方はリアルからオンラインへと大きく変わった。そして、2022年にはリアルイベントが徐々に復活するに伴い、リアルとオンラインを両方活用した「ハイブリッドイベント」が注目を集めている。そしてハイブリッドイベントは今後、今以上に普及していく。リアルイベントのみだったコロナ前と比べて、コロナ禍を経験したあとのオンラインイベントはリアルイベントとは別の価値があるものとして、社会に定着しつつある。例えば、「セミナーはオンラインイベントに適している」であったり、「音楽のフェスはリアルイベントに適している」であったり、全てのイベントがオンラインイベントを経験したことによって、リアル・オンラインどちらに適しているのかが判断されるようになってきた。

コロナ禍によって誕生した新たなイベントのマネタイズ手法として、オンライン上で「有料チケット」を販売し、オンラインイベントやオンラインセミナーを有料配信するという流れが確立しつつある。ポイントの1つとして、集客の規模に制限がなく、リアル以上の収益を上げられる可能性があり、チケット単価はリアルイベントに比べると安価な傾向があるものの、地理的条件に左右されることなく集客できるため、イベントによってはリアルイベントよりも効率的かつ効果的にマネタイズを確立することが見込める。オンライン上でマネタイズする他の手法としては、ライブでの投げ銭やYouTubeなどの動画サイト上の広告収入などがあるが、会員登録者数が相当数ないと成り立たないため、すぐにはマネタイズしにくいのが現状。一方、有料チケット制のオンラインイベントであれば少ない規模でもすぐにマネタイズを確立できるため、今後はリアルイベントのコンテンツの一部を有料配信などの新たな手法が活性化することが予想される。

Project 3.



PRODUCER : 松延 智明

■ Event : 新入社員採用ホームページ制作 (企業様向け)

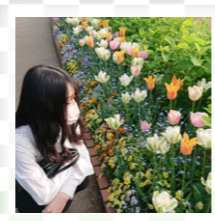
■ Date : 4月

■ Place : 大崎

お客様4人の方にインタビューを行い、新入社員採用ホームページを制作しました(右の画像は1人分です)。お客様からのご要望は「リニューアルに伴い、カッコイイサイトにしたい」という漠然としたもの。本来であれば、ディレクター、デザイナー、ライター、カメラマンの全員で集まってしっかりと企画を考えたいところですが、コロナ禍であること、納品まで時間がないことから、二つのコンセプトを考えたうえで、Web会議でお客様にプレゼン、一つのほうをお選びいただきました。今度は、それをもってディレクターと練っていき、デザイナーができあがったコンセプトをもとに最初のイメージを作る、という流れです。年末年始をはさみ、およそ1か月半で取材・撮影までこぎつけることができました。当初は3名の方のインタビューを予定していましたが、最初の仕上がりを見ていただく大変気に入っていただけで、もう1人追加してほしいという要望をいただきました。ありがたいことです。

取材の現場では、取材対象者のかたとライターの距離をかなりとったり、換気をこまめに行ったり、必要に応じてラビットテストを行ったり、いろいろな配慮をします。中でも厄介なのがマスク。取材対象者のかた以外は全員マスクをしているので、スタッフに指示を出すにも表情がわかりづらかったり、声が届きづらかったりと、不自由なく取材をしていたところがどれだけ恵まれていたかがわかりました。

人物写真の撮影では、被写体のかたにリラックスしていただく目的で、いろいろと話しかけるのが通例です。ここでもマスクをして距離をとっているため、スムーズなコミュニケーションが難しく、特に執務室には実際に仕事をされているかたがたかさんいらっしゃるので、大声を出すわけにもいかず、1名様分にかかる取材・撮影時間が通常時よりも長くなってしまいう傾向です。現在は、4名様分すべてがお客様のホームページにアップされました。そして、何と！評判が良かったということで、今度は中途採用ホームページの制作依頼をいただきました。取材クルーは全員同じにしてほしいという要望までいただき、嬉しい限りです。そう思うと、コロナにかかって誰か一人でも欠けてはいけないので、普段の生活から気を引き締め直さなければなりません。今回のクルーは、わたしも含めて3回のコロナワクチン接種を行っていますので、安心はできませんが、みなさまからのお仕事のご依頼、お受けできるように準備万端でお待ちしております！



地元新潟に帰省しました！

本部 池田 安里紗

- 経理の池田です。今年のGWは地元・新潟に帰省しました。
- 昨今の状況もあり、これまでは帰省といっても家族と会うだけでしたが、今回は友人たちと遠出をすることもできました。友人たちと「かにや横丁」という場所で大きなベニズワイガニを食べたり、4年ぶりに会った人たちと昔話をしたり、地元でいた頃を思い出せる有意義な時間となりました。
- 母と出掛けることも久々でしたので、他愛無い話をしながらドライブや散歩を楽しみました。
- 今年は以前 adtain で紹介した「長岡花火」が3年ぶりに開催される予定ですので、とても楽しみです。
- 今まで叶わなかった分、これからは様々なところに目出したいと思っています。

大きなカニ！
腕1本分ほどの大きさです



Project 4.



中井 萌永

■ Event : 米国产ポテト調理セミナー

■ Date : 4月中旬

皆さんこんにちは。GWはいかがお過ごしでしたでしょうか。今月は私が入社して初めて携ったお仕事について書かせていただきます。4月中旬、米国ポテト協会という米国産ポテトの販売拡大・PR活動を行なっている団体の主催で、フードトラック・デリバリー業態の調理従事者の方等を対象に、調理セミナーを行いました。皆さんが普段召し上がっている冷凍ポテトの約7割強が米国产です。米国产ポテトには、水分量が少なく、外はカリッと、中はホクッとしている特徴があります。また、中型～大型のポテトは長いカットが可能になり、カサが増し、利益率が高く、見栄えが良くなります。調理講習会では、このポテンシャルを最大限引き出せるよう、フライドポテトの揚げ方のコツの伝授や、ローディットフライコンテストを行いました。「ローディット」は、英語で「荷物を山積みにした」という意味があり、フライドポテトの上に、様々なソースや具材をたっぷり乗せた料理です。アメリカで流行し、最近では日本でもサイドメニューとして取り入れるお店が増えてきました。ポテトに乗せるだけの簡単なオペレーションと、具材や味のバリエーションの豊富さ、見た目のインパクトもあり、フードトラックのメニューとしても取り入れやすい一品です。

コンテストは、約60種類のトッピングと3種類のフライドポテトを用意しました。参加者それぞれの個性が発揮されたローディットフライが出来上がり、わいわいとした雰囲気最後まで大盛況でした。私も、試食をさせていただいたのですが、手が止まらなくなるくらい美味しかったです。皆さんも冷凍ポテトをご購入の際は、是非、米国産ポテトを手にとってみてください。

